

ユニオンファンド 月次レポート

第138号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2020年5月11日作成

MONTHLY TOPIC

反転した相場を眺め直す

株価は3月後半を境に反発に転じました。おそらく多くの投資家の予想以上の急回復だったのではないかと思います。だからこそ当面の展開に注意すべきではありますが、同時に、今後期待すべき点も見えてきました。

好調なセクターは少なくない

株価が総崩れした3月半ばまでは見えにくかったですが、回復に転じたことで現状に強いセクターや企業がクリアに浮かび上がりました。典型的なのはヘルスケア（医薬品など）と情報技術（IT関連）のセクターに属する企業です。コムジェストEU Fの保有比率トップ（4月末）であるスイスのRoche（ロッシュ）は、新たに開発した新型コロナウイルスの抗体検査法について、米国食品医薬品局の緊急使用許可を取得したと発表しました（5月3日）。株価は史上最高値を一時更新しています。また、キャピタルFの第2位（3月末）であるオランダのASML（半導体製造装置）や第8位（同）のMicrosoftは、高値まであと数%に迫っています。ハリスFのトップ（3月末）であるAlphabet（Googleの持株会社）も、今回の下落幅のほぼ5分の4を回復しました。このほかにも多くの企業が、業績への痛手の小さいことや今後の成長期待を背景に、大きく買い戻されています。

もちろん、下がったままという企業も多数あります。しかし、景気回復が今後徐々に見えてくるにつれて、株式市場の次のリーダー役を担っていく可能性が高いですから、巻き返しをじっくり待てばいいと考えています。

予想シナリオの範囲内。今後期待しつつ注意も怠らず

2月から3月には、株式相場の急変を受けてその後のシナリオをいくつか立てたのですが、幸い最も楽観的なシナリオに沿ってここまで推移してきました。それは、「手のひらを返したように、株価は半値もしくは3分の2程度反発する」というものでした。3月に買い増しを行ったのは、このシナリオに基づくものです。最も悲観的なシナリオは、「このままさらに大きく下落し高値から半値程度になる」というものでしたが、そうした事態は避けられそうで、正直ホッとします。

ただ、楽観シナリオにしても懸念材料はつきまといまいます。それは、「テクニカルな売りの一巡や政策期待による上げの後、実体悪に再度売り叩かれる」とか、「感染の再燃や、いくつか大きな企業破綻などが起こり、そのたびに回復相場は中断する」といったものです。今後の推移には引き続き十分な注意が必要と考えています。

新型コロナに限らず感染症はこれからも発生するでしょうし、それ以外にも私たちは多くの問題を抱えています。しかし、中長期的な世界の未来については楽観しています。今回のコロナとの戦いは、人類の未熟さと弱さをさらけ出しましたが、一方で、その英知を集めて互いに協力し、前進し続ける姿も垣間見ることができたからです。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

ユニオンファンド運用状況

(2020年4月末現在)

基準価額	
21,073 円	
純資産総額	
64 億 20 百万円	
期間別騰落率(%)	
1 ヶ月	5.24%
1 年	-13.28%
3 年	-8.60%
5 年	-6.47%
10 年	50.46%
設定来	110.73%
複利年率(%)	
6.68%	

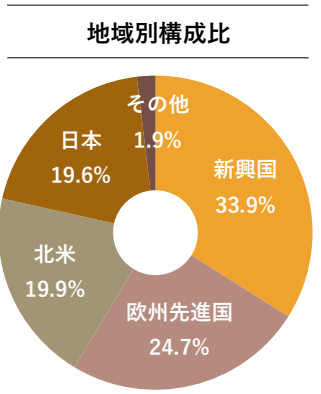
*「複利年率」とは設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。「複利年率」は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。



組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	5.7%	0.8%
スパークス F	日本	10.4%	3.8%
キャピタル F	欧米	16.9%	7.6%
ハリス F	欧米	17.4%	7.6%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.2%	5.4%
コムジェスト・エマージング F	新興国	30.4%	6.1%
現金等	-	9.9%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算



投資部分(現金等を除く)に占める比率
(2020年3月末現在)

- ファンドの特長**
- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
 - ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
 - ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
 - ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
 - ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

UNION FUND REPORT

2020年4月の市場動向と運用状況

投資環境

3月に歴史的とも言える急激なピッチで下落した株式市場は、4月に入ってほぼ順調な回復傾向をたどりしました。新型コロナウイルスの感染者数の伸びが多く、主要国で頭打ちとなってきたことに加え、薬品会社などによる治療薬やワクチンの開発も伝えられ、今後感染被害は沈静化に向かうとの予想が広がりました。これを受け、多くの国で都市封鎖を含む外出規制を緩和する方針が示され、一部では規制解除がすでに実施されつつあります。これで景気の悪化も止まるとの期待感が株価を押し上げました。

もっとも、足元の景気はほぼ予想どおりながら大幅な悪化が続きました。IMFは恒例の『世界経済見通し』の中で、2020年の成長率予測を▲3.0%へと、6ポイント以上も引き下げました。また、1-3月期の企業業績は、景気の急激な落ち込みを受けて総じて大幅な減益となっており、今年の予想の発表を見送る企業も増えています。

原油市場では米国の代表油種である WTI の価格がマイナスに落ち込む異常事態が発生しました。需要が激減する一方で供給削減が遅れたため在庫が積み上がり、貯蔵施設の用意ができない買い手が投げ売りしたためです。その後価格はプラス圏に戻ったものの低迷しており、産油国や石油産業に悪影響をもたらしています。

運用の状況

ユニオンファンドの基準価額は、株価反発による組入ファンドの値上がりを受けて上昇しました。3月に大幅安となった外国株に投資しているファンドがいずれも5%を超える値上がりとなったことが寄与しました。組入比率につきましては、若干の買い増しを行った結果、月末時点で90.1%となりました。

今後の見通しと運用方針

ウイルス感染の推移と、感染抑制策による経済への悪影響の程度や期間が引き続き市場の関心事となっています。規制緩和が遅れて経済へのマイナスダメージが残る恐れがある一方、緩和を急ぐと第二波の感染拡大をもたらしかねないとの懸念が根強く残っています。一般市民も、感染リスクがある中では一気に元の生活には戻れないと感じているようです。前述の IMF 世界経済見通しでは、都市封鎖が予想以上に長引く場合や、来年感染が再流行した場合には、さらに大きく下振れるリスクがあるとしています。債務を抱える個人や企業、国の中には収入の激減から返済困難に陥るケースも出かねない状況です。米国はじめ各国の金融財政政策は、経済や市場の安定化に大きく寄与していますが、それにも限界があり、特に財政支援は景気悪化が長期化すれば継続が困難になりそうです。

過去1ヵ月強の株価反発は、「最悪期は過ぎた」との見通しを積極的に織り込んだものですが、ここからは、「そう簡単にはいかない」という慎重な見方が増える余地があり、市場の混乱は今後も起こりえると予想しています。

とはいえ、ウイルスによる経済や企業業績への悪影響は長い目で見れば一過性のものであり、株価が下落したところは投資のチャンスであるとの考えは変わっていません。感染状況はもちろん、実体経済への影響などを慎重に見極めながら、買い増しによって組入比率をさらに引き上げる方向で引き続き前向きに運用する考えです。

運用責任者 久保田徹郎

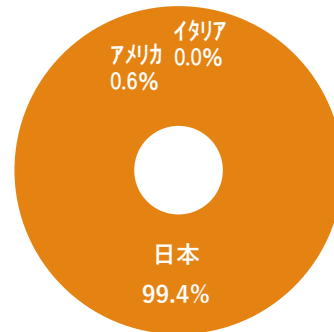
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

さわかみファンド

基準価額の推移



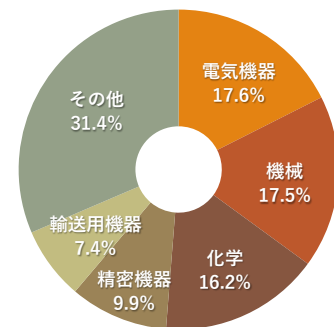
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 日本電産	4.9%	日本	電気機器	精密モーター世界首位
2 花王	4.7%	日本	化学	トイレット紙首位
3 ダイキン工業	4.3%	日本	機械	エアコン世界首位
4 テルモ	4.0%	日本	精密機器	医療機器 (カテーテル)
5 浜松ホトニクス	4.0%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
6 信越化学工業	3.9%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
7 プリヂェストン	3.8%	日本	ゴム製品	タイヤ世界首位
8 トヨタ自動車	2.9%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 TOTO	2.9%	日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
10 三浦工業	2.5%	日本	機械	産業用小型ボイラー大手
上位10銘柄	37.7%	現金等	8.1%	

業種別構成比



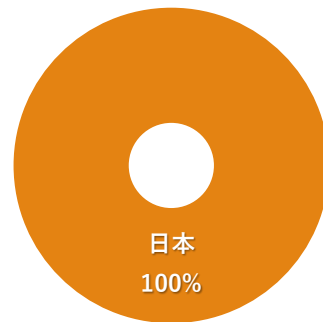
※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年4月末現在 >

スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



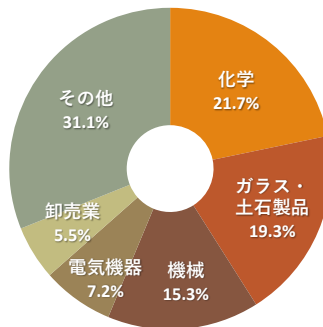
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
シップヘルスケアHD		日本	卸売業	医療機器・設備
関東電化工業		日本	化学	半導体製造用特殊ガス等
クミアイ化学工業		日本	化学	国内農業大手
TOTO		日本	ガラス・土石製品	衛生陶器国内首位
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
三浦工業		日本	機械	産業用小型ボイラー大手
オルガノ		日本	機械	水処理装置大手
全国保証		日本	その他金融業	独立系の住宅ローン保証会社
エフビコ		日本	化学	食品トレなど容器の大手
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
現金等				8.6%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2020年3月末現在 >

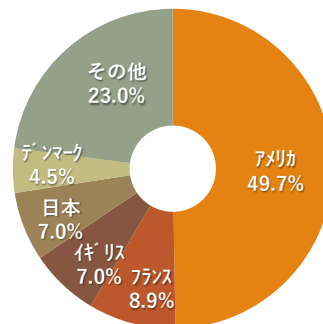
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



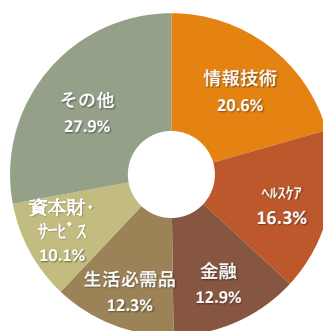
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 AIA	2.1%	香港	金融	生保・金融サービス
2 ASML	2.1%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
3 Visa	2.0%	アメリカ	情報技術	世界有数のクレジットカード
4 Novo Nordisk	2.0%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
5 AstraZeneca	2.0%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
6 Broadcom	1.9%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
7 TSMC	1.8%	台湾	情報技術	半導体メーカー
8 Microsoft	1.6%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピューター・ソフト
9 Safran	1.6%	フランス	資本財・サービス	航空・宇宙・防衛用エンジン等
10 Reckitt Benckiser	1.6%	イギリス	生活必需品	トイレタリー、医薬品、食品
上位10銘柄	18.8%	現金等	8.5%	

業種別構成比



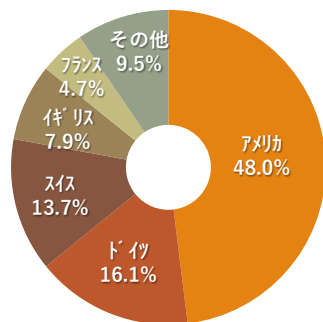
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年3月末現在>

ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュー株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



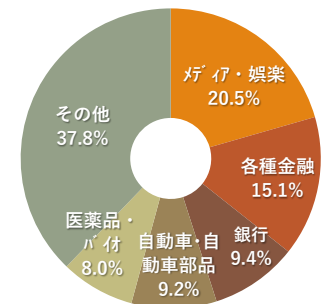
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ALPHABET	5.2%	アメリカ	メディア・娯楽	グーグルの持株会社
2 DAIMLER	4.7%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
3 CREDIT SUISSE	4.6%	スイス	各種金融	スイス大手銀行
4 BNP PARIBAS	4.4%	フランス	銀行	フランス大手銀行
5 GLENCORE	4.0%	イギリス	素材	鉱山開発・商品取引
6 ALLIANZ	3.8%	ドイツ	保険	総合保険大手
7 BAYER	3.7%	ドイツ	医薬品・バイオ	大手化学医薬品メーカー
8 JULIUS BAER	3.6%	スイス	各種金融	プライベートバンク
9 BERKSHIRE HATHAWAY	3.6%	アメリカ	各種金融	保険事業を主軸とする持株会社
10 CNH INDUSTRIAL	3.3%	オランダ	資本財	農機・建機メーカー
上位10銘柄	40.7%	現金等	5.9%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の24産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年3月末現在>

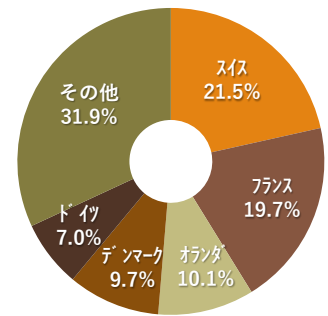
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保障するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



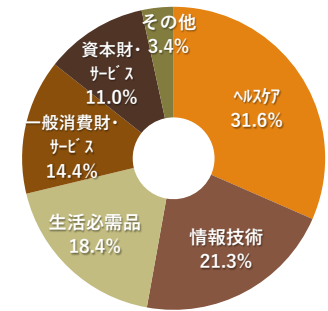
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ROCHE HD	5.6%	スイス	ヘルスケア	医薬品・診断薬
2 NOVO NORDISK	4.9%	デンマーク	ヘルスケア	糖尿病薬等世界首位
3 ASML HD	4.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
4 HEINEKEN	3.8%	オランダ	生活必需品	ビール生産世界大手
5 ESSILORLUXOTTICA	3.5%	フランス	一般消費財・サービス	光学製品
6 AMADEUS	3.4%	スペイン	情報技術	旅行予約システム
7 LONZA	3.3%	スイス	ヘルスケア	医薬品・バイオ
8 LINDT & SPRUENGLI	3.2%	スイス	生活必需品	チョコレートなどの食品・飲料
9 SAP	3.1%	ドイツ	情報技術	ビジネス向けソフトウェア大手
10 STRAUMANN HD	3.0%	スイス	ヘルスケア	歯科インプラントメーカー
上位10銘柄	38.2%		現金等	8.0%

業種別構成比(マザーファンド)



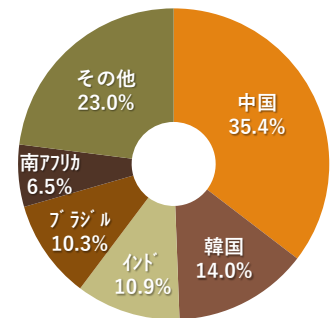
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年4月末現在>

コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



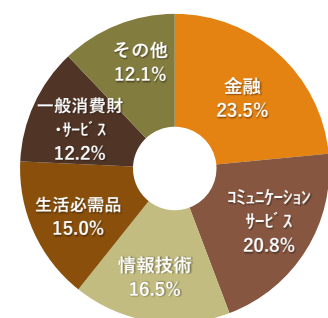
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 PING AN INSURANCE	6.5%	中国	金融	保険大手
2 NETEASE ADR	6.0%	中国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
3 SAMSUNG ELECTRONICS	5.4%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
4 TSMC ADR	5.0%	台湾	情報技術	半導体メーカー
5 HENGAN INT'L	4.4%	中国	生活必需品	トイレット製品国内大手
6 NC SOFT	3.7%	韓国	コミュニケーションサービス	オンラインゲーム
7 COGNIZANT TECHNOLOGY	3.7%	アメリカ	情報技術	インドに受託拠点を置くIT会社
8 POWER GRID OF INDIA	3.4%	インド	公益事業	電力関連(送電網)
9 AIA	3.4%	香港	金融	生保・金融サービス
10 NAVER	3.2%	韓国	コミュニケーションサービス	インターネット検索サイト
上位10銘柄	44.7%		現金等	2.7%

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2020年4月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

NOTICE

業務管理部からのお知らせ

「定期定額購入」と「スポット購入」は併用できます。

最近の相場で、ファンドを追加購入される、ご検討いただいているお客様が多くいらっしゃいます。普段、毎月積立ての「定期定額購入サービス」のみをご利用されているお客様が追加で購入をされる場合、毎月の購入金額の変更以外に、「スポット購入」による追加購入もご利用いただけます。

「スポット購入」は、弊社へ口座開設されているすべてのお客様がご利用いただけます。購入金額は「1万円以上1円単位」で、お申込日の翌々営業日の基準価額での購入となります。口座開設いただいた際に弊社よりお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご案内の「ファンド購入用振込先口座」へ、お客様からのお振込みによりファンドを購入いたします。（購入方法の概要は弊社HP「ファンドの購入」ページ、および「お客さま控え」に記載しております。）

ご登録情報・ご契約内容の変更手続きについて

弊社へご登録いただいているご住所、お名前等の登録情報、毎月積み立て「定期定額購入サービス」の購入金額や引落金融機関口座等の契約内容の変更につきましては、書面によりお届けいただいております。

各届出用紙につきましては、**弊社業務管理部（TEL：0263-38-0725）へのお電話** または **弊社ホームページの「取引口座関連（各種変更手続き）」** よりご請求ください。

≪弊社ホームページからの変更用紙請求手順≫

「取引口座関連」>「登録情報変更用紙請求/メールアドレス・月次レポート受取方法変更」ページ
<https://unionam.co.jp/change-procedure/index.html>

- ① [入力フォーム]お客様情報 をご入力（お客様コードについては下記※をご確認ください）
- ② [入力フォーム]登録情報変更用紙の請求 にて必要書類の部数・用紙送付先情報をご入力
- ③ 入力内容をご確認の上「送信」ボタン

※「お客様コード（口座番号）」は、口座開設時にお送りいたしました「総合取引口座【新規】お客さま控え」にてご確認いただけます。また、お取引の都度お送りいたします「取引報告書」（圧着ハガキ）のお開きいただいた左上にも「口座番号」として「お客様コード」を記載しておりますので、こちらでもご確認いただけます。

※ 定期定額購入サービスは購入スケジュールに沿って手続きを行いますので、お申込みの時期によってはご契約内容が反映されるまでにお時間がかかる場合がございます。何卒ご了承ください。

※ 上記のほか、登録情報などに関すること（特定口座、マイナンバー、お届出印など）でお困りのことがございましたら、お電話または弊社HPより弊社業務管理部までお問い合わせください。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

RISK AND FEE

ユニオンファンドのリスク・手数料

『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

申 込 手 数 料 お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。
※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

換 金 手 数 料 ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

信 託 財 産 留 保 額 ありません。

信 託 報 酬 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。
毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。
[*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]
*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。
※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が変更・改正された場合、変更になることがあります。

そ の 他 の 費 用 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書（交付目論見書）の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。